企業・団体名（　有限会社　アカハネ保険事務所　長野支店　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	業務運営にあたっては差別をなくし、いかなる人権の侵害を容認しない旨のメッセージを経営トップ自ら発信し、社内での浸透を図っています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則および社内規程であらゆるハラスメントを禁止するとともに、原則毎月開催のコンプライアンス研修でも定例的にハラスメントをテーマとしています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	当社においては原則残業はありません。やむなく休日出勤する場合も代休の取得を義務付け、過度な長時間労働を防いでいます。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者にかかわらず、当社は差別および人権侵害を容認しません。(№1参照)				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	社員の健康維持のための定期健康診断を実施しています。また健康的かつ衛生的な職場環境を維持するため、定期的に職場環境点検を行っています。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	【予定】年1回のメンタルヘルスチェックの実施を検討します。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性やシニアがその特性を活かして活躍できる職場環境の整備に取り組んでいます。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	社員教育の重要性を認識し、年間計画を立て、商品知識、業務知識、周辺知識の修得に取り組んでいます。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	社員間に不合理な待遇差が生じないように社内規程(「賃金規程」)を改定整備し、社内で周知しています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	従業員へは精神面を含めた健康増進のための運動を推奨しています。現在、野球部の活動を幅広く支援しています。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物については廃棄まで社内で適切に管理し、処理･処分については信頼できる専門業者に委託しています。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	【予定】電気使用量を把握し、省エネに取り組むことで、温室効果ガスの削減を目指します。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】上記取組は削減目標を設定したうえで取り組むこととします。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有害化学物質の使用はありません。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	業務運営にあたっては環境に配慮した材、商品、サービスを購入し、自社の活動が環境に悪影響を及ぼさないことを心掛けています。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	ごみの分別廃棄を徹底するとともに、ペーパーレス会議の取組、裏紙の使用(廃紙の削減)等、環境に配慮した業務運営を行っています。 また、「紙」の削減のため、保険証券および交付約款のWeb化に取り組んでいます。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ							6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ													12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	本社に太陽光発電設備を設置し、年間およそ8,000KWHの電力を産出しています。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	社内規程(「法令等遵守規程」「法令等遵守に関する基本方針」)を整備し、一切の違法行為を行わないことを社内で徹底しています。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	同上																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	同上								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報管理規程、プライバシーポリシー、顧客情報取扱マニュアルを整備するとともに、年複数回の研修および監査・点検を実施する等、個人情報を適切に管理する体制を構築しています。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の取扱はありません。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	元受保険会社である損保ジャパン社、SOMPOひまわり生命社、第一生命社と密接に連携しSDGsに取り組んでいます。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	保険契約(サービスを含む)の概要、注意喚起情報等の重要な事項の説明にあたっては、手順書を策定し、十分に理解いただく体制を構築しています。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	お客さまの声や“ヒヤリハット”事案を収集、原則月一回の品質向上ミーティングにおいて共有することで業務の改善に役立てています。 苦情については、対応マニュアルを策定し、発生原因を深掘りを行い、再発防止策を策定することとしています。 当社はISO9001の認証を受けています。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	商品の開発・設計は元受保険会社が担っていますが、当社は元受社へ要望、要請を行うことで、環境配慮に資する取組を行っています。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	同上	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	当社は地域密着型の保険代理店を標榜し、地域との対話に努めています。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	こども食堂(「こどもカフェ･tokotoko」)(佐久市猿久保)の活動を全面的に支援しています。 定期的に「少年･幼年野球教室」を開催し、少年･幼年児の健全な発育に資する取組を行っています。 また、所属団体のJSA中核会の活動(千曲川河川敷清掃･古切手の収集等)にも積極的に参加しています。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ									8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化し、毎週の朝礼に全役職員で唱和、常に理念を意識することで、形骸化を防止しています。 経営目標については年度当初の全体会議で周知、共有しています。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令等遵守が当社の屋台骨であると認識し、原則月一回のコンプライアンス研修、年複数回の監査･点検を通じてコンプライアンスマインドの定着を図っています。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	現業部門から独立した、社長直結の監査･管理部門を設置し、業務全般の管理および改善指導を行う体制を整備しています。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	最重要ステークホルダーであるお客さまとは直接の対話だけでなく、アンケートを通じても対話を進め、業務改善に役立てる取組を行っています。 また、元受保険会社とも頻繁に打合せを行い、的確なアドバイスを受けています。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	監査･管理部門がリスクマネジメントを担当し、適切にリスクを管理、対処することとしています。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSRについても、SDGsの取組とともに監査･管理部門が担当し、社会や環境に対し、責任を持った業務運営に資する体制を構築しています。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	本社、支店ごとに事業継続計画(BCP)を策定し、万一の事態にもお客さまへ安心をお届けする体制を整備しています。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	社員層は厚く、後継者育成を含め、事業承継は的確に計画、実行されています。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）